

医薬品リスク管理計画  
(RMP)

本資料はRMPの一環として  
位置付けられた資料です

# サークリサ<sup>®</sup> 治療連絡カード

監修: 奥田 誠 先生

東邦大学医療センター大森病院 輸血部

サークリサ<sup>®</sup>治療開始前の輸血前検査結果を  
このカードに記載し、患者さんへお渡してください。

サノフィ株式会社



PV.ISA.RMP.20.066  
2020年8月作成

SANOFI GENZYME 

参考:日本輸血・細胞治療学会「多発性骨髄腫治療薬(抗CD38)による免疫性反応への対処法(一部改定版)」(2017年) サノリサ<sup>®</sup>製品添付文書もあわせてご参照ください。

- 輸血の際には、サノリサ<sup>®</sup>治療開始前(初回投与前)に実施した、本カードに記載の輸血前検査結果(不規則抗体の有無)等を参考にしてください。
- 間欠投与前試験への干渉は、サノリサ<sup>®</sup>治療中および最終投与前から目安として6ヵ月後まで持続する可能性があります。
- この干渉は、検査に使用する赤血球試薬、供血者赤血球をジチオスチロール(DTT)処理することで回避できますが、Kell血液型抗原はDTTにより破壊されるため、抗Kなどの抗体の存在を確認することができません。
- サノリサ<sup>®</sup>は、赤血球上に発現するCD38と結合し、間接抗グロブリン試験(間接グロブリン試験)において、陽性(汎反応性)になることがあります(ABO型およびRh型)の判定には影響しません。
- サノリサ<sup>®</sup>(一般名:イサツキシマゾ)は、「再発又は難治性の多発性骨髄腫」に効果又は効果有する抗CD38モノクローナル抗体です。

## 輸血検査の専門機関および検査部門の医療関係者の方へ

### サノリサ<sup>®</sup>治療連絡カード

サノリサ<sup>®</sup>による治療を受けている/受けた  
**患者さん、ご家族の皆様、  
介助者の方々へ**

このカードには輸血の際に必要な情報が記載されています。

**サノリサ<sup>®</sup>治療中および最後の投与前から目安として6ヵ月間は、このカードを常に携帯し、医師または医療スタッフに提示してください。**

サークリサ<sup>®</sup> (抗CD38抗体) で  
治療中です

サークリサ<sup>®</sup>カルテ番号:

患者さん 氏名:

血液型:

■サークリサ<sup>®</sup>治療状況

- 治療中 治療開始日: 年 月 日  
 治療終了 最終投与日: 年 月 日

サークリサ<sup>®</sup>治療開始前(初回投与前)の患者プロフィール

■不規則抗体 検査実施日: 年 月 日

- なし  
 あり(抗体: )

■輸血の既往

- なし  
 あり 輸血実施日: 年 月 日

■サークリサ<sup>®</sup>治療担当医師

担当医師名: 連絡先:  
医療機関名: